

陳情第 6 号

OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情書

(陳情要旨)

政府は「経済財政運営と改革の基本方針2025」において、現役世代の保険料負担を軽減するためとして、「OTC類似薬の保険給付の在り方の見直し」を盛り込みました。OTC類似薬の保険適用除外が行われると、医師の診断ではなく、患者の自己判断で市販薬を使用することが増え、適切な治療を受けられずに、重篤化することへの懸念が医師などからも指摘されています。

OTC類似薬が保険適用から除外されることについて、「薬代の負担が大幅増となり治療を継続できない事態が起きかねない」と、難病患者の家族や日本アトピー協会などから保険適用の継続が求められています。

この間、各市町村では子ども医療費の助成制度の対象年齢を引き上げるなど、子どもたちの命と健康を守るための施策を強めてきました。しかし、これまで助成制度の対象になっていた処方薬がO T C類似薬の保険適用除外によって、市販薬を購入せざるをえないようになれば、子育て世帯にとって大幅な負担増になります。日本小児科医会からは「保険適用除外は保護者の経済的負担を増し、少子化のなか『子育て支援』策として全国的に広がっている小児医療費の保護者負担軽減の方向に逆行し『子育て妨害』です」という指摘がされています。

国民の2人に1人が罹患していると言われている「花粉症」の患者や、1000万人を超えている「変形性膝関節症」の患者など、広範な患者の負担増にもなりかねません。

よって、政府は医療費削減ありきではなく、すべての国民が必要な医療を受けることができるように、ＯＴＣ類似薬の保険適用除外を進めないことを求めます。

(陳情事項)

上記の趣旨の内容の意見書を国等に提出してください。

令和7年12月16日

恵庭市議会

議長 川原光男様

陳情者 暮らしを守る恵庭市民の会

代表

住所